

○学習障害

先日、教職員の研修会で学習障害（LD）について、学ぶ機会をいただきました。LDのタイプは読字障害（ディスレクシア）、書字障害（ディスグラフィア）、算数障害（ディスカリキュリア）に分かれています。人によって症状の表れ方が異なったり、意識しないと気付かれなかったりすることも多く、診断が難しい障害とされています。

また、特定の分野でできないことを除けば発達の遅れは見られないため、「がんばればできる」「努力が足りない」「勉強不足」と思われてしまうことが多いです。支援の必要性が認知されにくく、結果的に子どもの自信の低下につながりやすいので、注意が必要です。

読字障害（ディスレクシア）

- ・形態の似た字である「わ」と「ね」、「シ」と「ツ」などを理解できない
- ・小さい文字「っ」「ゃ」「ょ」を認識できない
- ・文章を読んでいると、どこを読んでいるのか分からなくなる
- ・飛ばし読み、適当読みをするなど文章をスムーズに読めず、読み方に特徴がある
- ・音声にするなど耳から情報は理解しやすい場合が多い など

書字障害（ディスグラフィア）

- ・鏡文字や雰囲気で「勝手文字」を書く
- ・誤字脱字や書き順の間違いが多い
- ・黒板やプリントの字が書き写せない、時間がかかる
- ・漢字が苦手で、覚えられない
- ・文字の形や大きさがバラバラになったり、マス目からはみ出したりする など

算数障害（ディスカリキュリア）

- ・簡単な数字、記号を理解しにくい
- ・繰り上げ、繰り下げができない
- ・数の大きい、小さいがよく分からない
- ・文章問題が苦手、理解できない
- ・図形やグラフが苦手、理解できない など



障害であるのか、努力不足であるのかは判断が難しいところだと思います。大切なのは子どもの様子をしっかりと観察し、支援の方法を考えることだと思います。思い込みで指導をするのはよくありません。例えば、算数の難しい問題が解けるのだから、文字は読めるはず、と決めつけてはいけません。文字を読んで理解することは苦手だけれども、音声で聞くことによって理解ができていたり、図形や記号で判断していたりするのもかもしれません。

異変に気付くのは小学校に入学して勉強を始め、学力が1～2学年遅れていることが分かった時とも言われています。周囲についていけないことを叱るのではなく、何が分からなくて困っているのか分析し、もう一度過去の学習に取り組んでみるのが大切なのだと思います。

ホームページ更新しました	来週の予定				
	月	日	曜	時間	行事等
○学校保健委員会 ○ふれあいタイム なわとび練習 ○令和4年度後期授業力向上研修 ○朝礼 節分講話 前期児童会選挙告示 あいさつ運動の連絡 ○6年 校外学習 「名古屋市科学館・博物館」	2	5	日		愛知県知事選挙
		6	月	14:55	朝礼 一斉下校
		7	火	2限 3限 4限 15:45	P T A地区委員長会 2・4・6年授業参観 なわとび集会 1・3・5年授業参観 一斉下校
		8	水	3限 14:55 15:45	ふれあいタイム（4年生企画） なわとび集会予備日 1・2年スクールガード下校 3～6年下校
		9	木	14:55 15:45	P T A広報委員会 1～3年下校、4～6年委員会 4～6年下校
		10	金	14:55 15:45	資源回収 1～3年下校 4～6年下校



子どもたちの活動の様子は、本校ホームページをご覧ください。

十四山東部小学校

で

検索

または

